

# かわにし 市議会だより No.227

令和2年  
2020年  
5月

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

市花りんどう



エドヒガンと菜の花(水明台)

## 3月定例会号

### もくじ

令和2年度各会計予算案など審議 ..... 2

#### 常任委員会報告

総務生活常任委員会 ..... 3

厚生文教常任委員会 ..... 4

建設公企常任委員会 ..... 5

審議結果等一覧・賛否の状況 ..... 6

#### 予算委員会報告

一般会計 ..... 8

特別会計 ..... 10

公営企業会計 ..... 11

総括質問 ..... 12

委員会視察報告 ..... 14



# 令和2年度各会計予算案など審議

## 選択的夫婦別姓制度の導入に向けた民法改正を求め意見書提出

新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、令和2年第1回定例市議会は2月19日に開会し、越田市長が施政方針演説により新年度の所信を表明したほか、一般会計をはじめとする9会計、総額109億275万円の当初予算案を議会に提出しました。

市長は新年度を「かわにし新時代」を本格的にスタートさせる年と位置付け、予算案には、「かわにし市民会議」を経て策定された第2次総合戦略に基づく施策の経費や、3年間をかけて行う事業の見直し（事業再検証）の初年度の結果等が反映されています。

2月27日・28日の本会議で行われた「総括質問」では、これらに対して5会派の代表者が質問に立ち、市長の考え方の詳細を明らかにしたほか、予算案については、全議員が一般会計と特別会計・公営企業会計の2つの予算委員会に分かれ、計4日間にわたって慎重に審査を行いました。

中でも、一般会計に経費が計上されている大和地区で実施予定のオンデマンド

モビリティサービス実証実験については、特に活発な質疑が交わられました。

大和団地など坂道の多いニュータウンにおける公共交通のあり方が課題となっていますが、市は、実証実験で昼間の時間帯をオンデマンド車両の運行に置き換え、各ニュータウンで高齢化とともに課題となっている、新たな地域内公共交通の確立を模索すると提案されています。しかし、この取り組みにはバス路線の廃止を懸念する住民の声も多いため、予算委員会では、各委員が実証実験のあり方やその後の進め方等について市の方針をたたくとともに、拙速に進めることのないよう要望した上で可決しており、本会議最終日においても同様の結果となっています。

以上のほか最終日には、市民からの請願を総務生活常任委員会で審査した結果発議することとなった「選択的夫婦別姓制度の導入に向けて民法改正を求める意見書」を可決し、3月26日に会期を終えました。

### 新型コロナウイルス感染症への対応について

川西市議会では、3月1日の夜に近隣市で兵庫県内初の新型コロナウイルスの感染者が確認され、市が速やかに警戒を強化する態勢に入ったのを受けて、2日・3日に予定していた一般質問を急きょ中止としました。

言うまでもなく、一般質問は市民の代表である議員が市政をただす重要な機会ですが、市民の生命と健康に関わる感染症対策は何よりも優先されるべきであり、市当局は時間と人員を十分に確保し全力でこれに臨まなければなりません。また、感染症拡大予防のため「密集」、「密閉」、「密接」を避ける行動が求められる中で、会議開催にあたっては、会議出席者、傍聴者への感染症対策も考慮し、各会派代表者で構成する議会運営委員会で協議を行った結果、全会派一致で中止を決定したものです。

また、本号の記事は3月定例会で審議された内容ですが、市は新型コロナウイルス感染症に対応するため事業の変更も検討されています。今後、予定されている事業が中止、延期されることもありますので、市の情報をよくご確認ください。

# 常任委員会報告

## 総務生活常任委員会

委員 委員長 〇〇 副委員長 〇〇  
〇福西 勝 〇坂口 美佳  
大崎 淳正 吉富 幸夫 秋田 修一  
多和田桂子 北野 紀子 津田加代子

### 川西市財政健全化条例の制定について

本案は、本市における財政運営の基本原則を定めることにより、市政運営の基盤となる健全な財政運営を自律的にを行うことを目的とした条例を新たに制定しようとするものである。

**質問** 条例では財政の健全性を検証する指標である基金確保比率を設定するにあたり、阪神・淡路大震災の時に緊急的に必要となった一般財源が約15億円であったことを参考に、健全基準値を5%以上と設定しようとしている。

しかし、近年、災害が大規模化している状況を考慮すると、この額を基にした指標では不安を感じる面もあるが市の見解を伺いたい。

**答弁** 当該基準値の算出に当たっては、阪神・淡路大震災当分の必要額だけでなく、近年の大雨等で被災した自治体の例も参考に設定している。

このような不測の事態には、最終的に特別交付税等の国費により補填されるものの、国による財源措置がなされるまでの間は、一般財源で対応することとなる。このため、標準財政規模に対する比率の5%程度の範囲内で一時的な負担を賄える実態を確認するなど、調査結果を踏まえて基金確保比率の基準値を設定するものである。

### 川西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定に伴い、印鑑登録における欠格事項の適正化を図るため、条例の一部を改正しようとするものである。

**質問** 本案により成年被後見人が欠格者から除外され、登録申

請が可能となること自体は喜ばしいものである。

その一方で、重要な取引等においてトラブルに巻き込まれないかが懸念されるが、この点について、市の考えを伺いたい。

**答弁** 成年被後見人が登録申請をすることは可能となるものの、基本的には法定代理人の同行が必要であり、法定代理人が登録可能と判断し、了承のもとで手続きが行われることとなる。そのため、トラブルに巻き込まれるといった事象は生じないものと考えている。

### 令和元年度川西市一般会計補正予算(第5回)〈分割付託〉

**質問** マイナンバーカードの活用による消費活性化事業において、国の事業設定の抜本的な見直しに伴い、事業費754万円を減額補正することであるが、この見直し内容について詳細を伺いたい。

**答弁** もともと同事業は、各自治体がプレミアム分としてポイントを付与することにより、当該自治体内での買い物を促すことが狙いであった。

その後、国が全国的に使用可能なポイント制度に変更するよう方針転換したことが、抜本的な見直しの主な内容となっている。



市民課窓口



## 厚生文教常任委員会

委員（委員長＝〇 副委員長＝〇）  
◎江見 輝男 ○中井 成郷 麻田 寿美  
中嶋千鶴子 磯部 裕子 西山 博大  
岡 留美 黒田 美智 斯波 康晴

### 令和元年度川西市一般会計補正予算 (第4回)

国の令和元年度補正予算による財源を活用し、市内の小中学校及び特別支援学校におけるICT環境を充実するため、通信ネットワーク整備に係る費用を追加補正するものである。

#### 質問 通信ネットワークの整備

後、本年10月から小学5・6年生と中学1年生に1人1台タブレットを配置し、他の学年にも年次的に対象を拡大することである。一方、プログラミング教育が本年度から開始されるが、本整備事業が完了し、タブレットが一人一台配置されるまでの間、具体的にどのように授業を展開されるのか伺いたい。

#### 答弁

プログラミング教育については、算数や理科の教科書に示されており、併せて総合的な学習の時間でも取り組んでいく予定である。プログラミング教育には、PC

を使わずに思考を育む「アンプラグドプログラミング」、PCを使ってプログラムを作成し画面上で動きを確認する「ビジュアルプログラミング」、作成したプログラムでロボット等の実物を動かす「フィジカルプログラミング」の3つの段階があるため、機器導入前から効果的に授業を進めることは可能と考えている。



#### 質問

先進自治体では、校舎内だけでなく体育館などのあらゆる場所で通信環境が整備されている例を確認しているが、本市における学校内の使用可能範囲や通信速度などの規格をどの程度で想定しているのか伺いたい。

#### 答弁

現状の市内学校におけるインターネットの通信環境は、使用場所に制約があったことも考えられるが、本事業を実施することによって、現在の有線LANを全て更

新するほか、WiFiアクセスポイントを各教室及び体育館にも各1台設置することを予定しており、校内全ての施設で滑らかに動画が見られる状態になるように整備する考えである。

### 川西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国民健康保険事業費納付金に必要な保険税額を確保するため、川西市国民健康保険運営協議会の答申を受け、国民健康保険税の税率等を1人当たり賦課額で年額7324円、割合にして平均7・53%改定する必要があるため、条例の一部を改正しようとするものである。

#### 質問 国民健康保険運営協議会が

市長の諮問に対する答申において、被保険者の理解が得られるよう周知を図った上で税率改定を実施するよう要望しているが、どのように市民への周知を図るのか伺いたい。

#### 答弁

市のホームページを活用して、本年4月からの改正内容を説明するのをはじめ、広報誌では5月号など複数回にわたって記事を掲載する予定である。さらに、今回の税率改正に関するパンフレットを全戸配布することで十分な周知を図っていきたいと考えている。

令和2年度の収納対策として、「呼びかけセンター」活用による初期段階での滞納整理」が掲げられているが、その具体的な取り組みと、生活困窮者自立相談支援事業との連携策について伺いたい。

#### 答弁

再三の督促や催告に応じない滞納者は存在するが、接触しなければ個々の実情が把握できないため、電話や文書送付の回数を増やすなど、納付相談の機会を確保して、十分に話を聞いた上で対応策を判断しながら、滞納の早期解消につなげたいと考えている。

また、生活困窮者自立支援制度との連携については、現在も窓口で、必要に応じて担当へつないでいるが、来庁しない滞納者へも、新年度では督促状や催告書を発送する際にチラシを同封する予定としている。併せて、市のホームページで国民健康保険の納付の案内の中でも自立支援制度の説明を掲載するよう、準備を進めているところである。

**反対意見** 近隣市で基金投入によって税率改定を回避した例もあり、自治体によって財政事情は異なるものの、自治体の責務として、住民の命を守ることに最も優先されるべきであると考え、大幅な改定率となった本案には反対する。

## 建設公企常任委員会

委員（委員長＝〇 副委員長＝〇）  
◎小山 敏明 ○松隈 紀文 山下 隆志  
吉岡 健次 田中 麻未 平岡 謙  
大矢根秀明 谷 正充 久保 義孝

### 川西市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「民法の一部を改正する法律」の制定等に伴い、入居に際しての保証人の確保を廃止するとともに、指定管理者が行う市営住宅の管理運営業務の範囲を明確にするため、条例の一部を改正しようとするものである。

#### 質問 今回の条例改正案で、指定

管理者が行う業務の範囲が規定されているが、入居者の募集において公平性を担保する方策をはじめ、家賃の決定主体や指定管理の期間設定に関する詳細を伺いたい。

#### 答弁

入居者は、公開の場での抽選により予定者を選定し、入居者選定委員会での協議を経て最終的に市が決定することとなるため、公平性は担保できると考えている。また、家賃は指定管理者が決定するものではなく、公営住宅法等に基づき市が決定する。なお、指定の期間

は3年間を予定している。

#### 質問 民法の改正を受けて、入居

時に保証人を求めないようになるとのことであるが、保証人に迷惑をかけられないといった入居者の意識が滞納の抑止力になっていた面もあると考える。今回の改正により、家賃滞納者が増加することも懸念され、公平性を担保するためにもより積極的な対応が必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

#### 答弁

滞納については、滞納理由が死亡や行方不明の場合は最終的に徴収停止後に不納欠損処理し、それ以外は分納誓約により支払い可能な範囲で納付していただいている。こうしたことから、保証人に弁済を求める例は、ほとんどないのが実態である。現在、滞納が発生した場合には、早期に入居者と接触して納付指導するなど、滞納解消に重点を置いて迅速な対応に努めている。また、必要に応じて福祉部局との連携も図っており、今後もちょうした取り組みを継続して、滞納額を増やさないよう努める考えである。

#### 答弁

県営住宅の統計により調べたところによると、連帯保証人を設定している世帯の滞納割合が3・54%、設定なしの場合が2・96%であることから、保証人と滞納



花屋敷団地完成イメージ

### 反対意見

市は、指定管理者制度により市営住宅の維持管理を行う意向であるが、市と入居者との間には距離感が生じ、修繕などの対応において遅れを生じさせる恐れがあるだけでなく、指定管理者による現場の判断で必要な情報が市に伝わらない可能性も危惧される。過去の市による維持管理に対して入居者は安心感を抱いており、指定管理者制度は導入すべきでないと考え、本案に反対する。

### 令和元年度川西市一般会計補正予算 (第5回)

#### 質問 阪神高速道路周辺環境監視

事業において、小花常時観測所での監視の廃止により226万円を減額しようとしているが、今後は騒音基準値を超えないと市は判断しているのか。また、近年における地域住民から騒音に対する意見等の状況について伺いたい。

#### 答弁

平成12年から30年まで騒音を測定してきたが、国の基準は全て達成しており、数値に大きな変動もなくなったことから、阪神高速道路環境保全委員会と協議の上、廃止を決定したものである。また、近年は特に住民からの意見も受けていない状況である。

#### 質問 公園維持管理事業におい

て、ナラ枯れへの緊急対応が不要となったことにより委託料を188万円減額しようとしているが、その詳細について伺いたい。

#### 答弁

ナラ枯れへの緊急対応として、県からの補助を受けて伐採や燻蒸等の処置を行う予定であったが、県の担当職員立ち会いのものと、現地確認を行った結果、対象の樹木は直ちに処置を行う必要がないことが判明したため、結果的に今年度の実施を見送ったものである。



議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
議案第23号	令和元年度川西市下水道事業会計補正予算(第2回)	下水道使用料、一般会計繰入金、消費税及び地方消費税の減額、総係費、流域下水道建設費の増額 など	原案可決 (全員賛成)	建設 公 企
議案第24号	令和2年度川西市一般会計予算	歳入歳出予算総額559億円 (12億4300万円減、前年度比2.2%減)	原案可決 (賛成多数)	一 般 会 計 予 算 特 委
議案第25号	令和2年度川西市国民健康保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額151億7234万5000円 (8億4860万3000円減、前年度比5.3%減)	//	特 別・公 企 会 計 予 算 特 委
議案第26号	令和2年度川西市後期高齢者医療事業特別会計予算	歳入歳出予算総額34億2094万1000円 (1億581万4000円増、前年度比3.2%増)	//	//
議案第27号	令和2年度川西市介護保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額2億2193万1000円 (3億9338万円増、前年度比3.0%増)	原案可決 (全員賛成)	//
議案第28号	令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計予算	歳入歳出予算総額7億5812万7000円 (24億6318万2000円減、前年度比76.5%減)	//	//
議案第29号	令和2年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計予算	歳入歳出予算総額11億1220万5000円 (1億923万5000円増、前年度比10.9%増)	//	//
議案第30号	令和2年度川西市水道事業会計予算	支出総額42億7063万5000円 (1億3475万6000円減、前年度比3.1%減)	//	//
議案第31号	令和2年度川西市下水道事業会計予算	支出総額60億7302万6000円 (2億7907万円増、前年度比4.8%増)	//	//
議案第32号	令和2年度川西市病院事業会計予算	支出総額92億7354万1000円 (60億6496万7000円増、前年度比189%増)	原案可決 (賛成多数)	//
請願第9号	川西市議会各種会議の映像配信を求める請願書(令和元年第3回定例会提出)	議会に対して、傍聴可能とされる各種会議の録画配信を速やかに行うよう求める	取 下 げ (全員賛成)	議会運営委員会
意見書案第1号	選択的夫婦別姓制度の導入に向けて民法改正を求める意見書	国に選択的夫婦別姓制度の導入へ、民法改正を求める	原案可決 (賛成多数)	—
請願第1号	「選択的夫婦別姓の導入へ、一日も早い民法改正を求める意見書」を国に上げることを求める請願	//	採 択	総 務 生 活
委員会提出議案第1号	川西市議政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	政務活動費の収支報告書の提出時期を年1回から年4回に変更する	原案可決 (全員賛成)	—
同意案第1号	監査委員の選任について	監査委員の任期満了に伴い、小林宏氏を選任する	同 意 (全員賛成)	—
同意案第2号	監査委員の選任について	監査委員の任期満了に伴い、向山愛子氏を選任する	//	—
同意案第3号	副市長の選任について	副市長に松木茂弘氏を選任する	//	—
同意案第4号	固定資産評価員の選任について	固定資産評価員の辞任に伴い、松木茂弘氏を選任する	//	—
選挙第1号	兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	兵庫県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙をする	選 挙 ( 投 票 )	—

# 賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載 賛成：○ 反対：× 欠席：-

会派名	市民クラブ “改革の風”	明日のかわにし	川西まほろば会	公明党	日本共産党 議員団	無所属																					
議員名	岡留美	福西勝	中井成郷	谷正充	津田加代子	多久和桂子	田中麻未	坂口美佳	斯波康晴	小山敏明	西山博	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	平岡 譲	大崎 淳正	麻田 寿美	大矢根 秀明	江見 輝男	黒田 美智	吉岡 健次	北野 紀子	吉富 幸夫	中曾 千鶴子	山下 隆志	
第1回定例会	議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
	議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	議案第32号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×
意見書案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	

※地方自治法の規定により、秋田修一議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

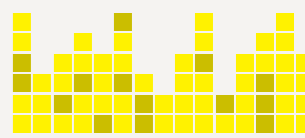
# 審議結果等一覧

## 第1回川西市議会(定例会) ※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、大崎弘美氏を推薦する	同 意 (全員賛成)	—
議案第1号	令和元年度川西市一般会計補正予算(第4回)	歳入歳出予算の総額に4億3720万円を追加、歳入歳出予算の総額は579億6461万9000円	原案可決 (全員賛成)	厚生 文 教
議案第2号	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び兵庫県市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する協議について	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体減少(中播農業共済事務組合の脱退)に伴い規約を変更する	//	総 務 生 活
議案第3号	川西市市民体育館等整備に伴うPFI事業に係る事業契約の変更について	物価変動等によるサービス購入費の見直しに伴い、増額する	//	//
議案第4号	川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業に係る事業契約の変更について	物価変動等によるサービス購入費の見直しに伴い、増額する	//	//
議案第5号	川西市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について	市民環境部が所掌している広聴に関する事項及び都市の魅力・発信に関する事項を総合政策部へ移管する	//	//
議案第6号	川西市財政健全化条例の制定について	市政運営の基盤となる健全な財政運営を自律的に行うことを目的に新たに制定する	//	//
議案第7号	川西市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	給与制度の適正化を図るため、条例の一部を改正する	//	//
議案第8号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	会計年度任用職員制度導入に伴い、報酬が日額で定められている職員又は給与支給される職員の補償基礎額の規定を整備する	//	//
議案第9号	川西市職員の自己啓発等休業に関する条例の制定について	大学等の課程の履修又は国際貢献活動を希望する職員に対し、職員としての身分を保有したまま職務に従事しないことを認める休業制度を導入する	//	//
議案第10号	川西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の制定に伴い、印鑑登録の除外規定の一部を変更する	//	//
議案第11号	川西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	国民健康保険事業費納付金に必要な保険税額を確保するため、国民健康保険税の税率等を改定する	原案可決 (賛成多数)	厚生 文 教
議案第12号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律の制定に伴い、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	建設 公 企
議案第13号	川西市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	民法の一部を改正する法律の制定等に伴う債権関係の見直し、指定管理者が行う市営住宅の管理運営業務の範囲を明確にするため、条例の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	//
議案第14号	阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業に関する建築行為等の手続条例の一部を改正する条例の制定について	換地処分後の建築行為等の手続きを定めることにより、引き続きキセウ川西の低炭素まちづくりを推進するため、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	//
議案第15号	令和元年度川西市一般会計補正予算(第5回)	歳入歳出予算の総額に17億1402万7000円を減額、歳入歳出予算の総額は562億5059万2000円	//	総 務 生 活 建 設 厚 生 文 教
議案第16号	令和元年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	保険給付費の増額及びそれに伴う歳入の増額、前年度繰越金の増額に伴う国民健康保険事業基金への積立金の増額及び人件費を減額	//	厚生 文 教
議案第17号	令和元年度川西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1回)	保険料の減額と前年度繰越金の増額に伴う後期高齢者医療広域連合への納付金の追加及び人件費の減額	//	//
議案第18号	令和元年度川西市農業共済事業特別会計補正予算(第1回)	令和2年4月1日から農業共済事業が兵庫県農業共済組合により実施されることに伴い、川西市農業共済事業基金を同組合に引き継ぐための負担金の追加及び人件費の減額	//	総 務 生 活
議案第19号	令和元年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第3回)	保険給付費の減額とそれに伴う歳入の減額、介護給付費準備基金への積立金の増額及び人件費の減額	//	厚生 文 教
議案第20号	令和元年度川西市用地先行取得事業特別会計補正予算(第2回)	用地購入費及び市債の減額と、土地売却収入の増額による減価基金への積立金の増額及び公債費の減額	//	総 務 生 活
議案第21号	令和元年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1回)	決算見込みに基づく事業費の減額及びそれに伴う国支出金など歳入の減額、人件費の減額	//	建設 公 企
議案第22号	令和元年度川西市水道事業会計補正予算(第3回)	消費税及び地方消費税、その他特別利益の増額、給水収益、一般会計繰入金、改良工事費、5期拡張工事費の減額など	//	//



# 予算委員会報告



## 一般会計（歳入）

**質問** 税制改正の影響で、法人市  
民税が前年度比較で1億  
3599万1千円減となる一方、法  
人事業税交付金が新たに創設されて  
おり、これらを差し引きすると約  
5千万円の歳入減となるが、減収  
に係る補填措置などの詳細を伺い  
たい。

**答弁** 今回、法人市民税が税率改  
定により3.7%減少となる  
一方、国税である地方法人税の率が  
引き上げられ、地方交付税の原資と  
して確保されることとなっている。  
したがって、地域間の税源の偏在を  
是正する法人事業税交付金のほか、  
地方交付税により減収が措置され  
る。

**質問** 国有提供施設等所在市町村  
助成交付金は、久代訓練場や  
射撃場が交付対象とされる一方、自  
衛隊阪神病院や総監部は対象外とさ  
れる。

**質問** 行財政改革推進事業におけ  
る事業再検証のワーキンググ  
ループに係る報償費が前年度より大  
幅増の319万円が計上されている  
が、報償費の増額要因と議論を進め  
る上でのメンバー構成について伺  
いたい。

**答弁** 元年度の行財政改革審議会  
とワーキンググループによる  
事業再検証に係る議論の中で、職員  
と議論する時間をより確保すべきと  
の意見を受けたため、ワーキンググ  
ループの実施回数を増やすよう増額  
計上している。その内容は、引き続  
き委嘱する6名の審議会委員で、複  
数のグループ構成によって議論する  
ことを想定しており、これにより事  
業再検証をさらに深めていきたいと  
考えている。

**質問** 特殊詐欺対策として新年度  
より自動通話録音機の貸し出  
しを実施されるが、本市の高齢化率  
が高い現状などを勘案すると、重点  
的に推進する事業であると考え、事  
業の内容やスケジュールなどの詳  
細について伺いたい。

**答弁** この事業は、防犯のために  
通話内容を録音する旨の音声  
を自動的に流し、自動録音する機器  
を高齢者に貸与するもので、貸出台  
数は100台を想定している。今

れている。  
市として、当該交付金の算定に関  
する要望が続けられているが、現状  
について伺いたい。

**答弁** 市としては、自衛隊病院や  
総監部等の関連施設を交付対  
象とすることに加え、既に対象の施  
設の固定資産税相当額への引き上げ  
についても、国に対して毎年要望し  
ているが、実現には至っていない。  
しかし、国では、固定資産税相当額  
に達していない現状を踏まえ、当該  
交付金を3年に1回増額しようとい  
う動きがあり、令和元年度に国の予  
算総額で8億円程度の増額分が措置  
された実績がある。

**質問** 新年度も基金繰入金として  
総額14億3649万円を計上  
しているが、既に公表されている中  
期財政運営プランと整合性が図られ  
ているのか。

後、市広報誌7月号で事業内容を周  
知した上で、申請の受付を7月から  
の2カ月間行い、10月頃から機器を  
配付していく予定である。



**質問** オンデマンドモビリティ  
サービスは、大和地区で既存  
の路線バスの運行形態を変更して実  
証実験を行う想定であったが、地域  
住民の意向等を踏まえ、バス運行  
は現状維持とする方向が示されて  
いる。

そこで、あらためて選定地区の変  
更を含めた見直しを行う考えはない  
か伺いたい。

**答弁** 当初、当該地区で実証実験  
を行う時間帯には路線バスを  
運休する計画だったが、地域住民の  
中でバス路線の廃止を心配する意見  
があり、これを払拭することができ  
ない状況となったことなどから、バ

◆一般会計予算審査特別委員会

◎岡 留美	○坂口 美佳
吉富 幸夫	山下 隆志
西山 博大	吉岡 健次
江見 輝男	多久和 桂子
北野 紀子	津田加代子
	磯部 裕子
	平岡 謙
	斯波 康晴

◆特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会

◎大矢根秀明	○谷 正亮
大崎 淳平	麻田 寿美
福西 勝	松隈 紀文
中井 成郷	黒田 美智
小山 敏明	久保 義孝
	田中 修一
	麻末

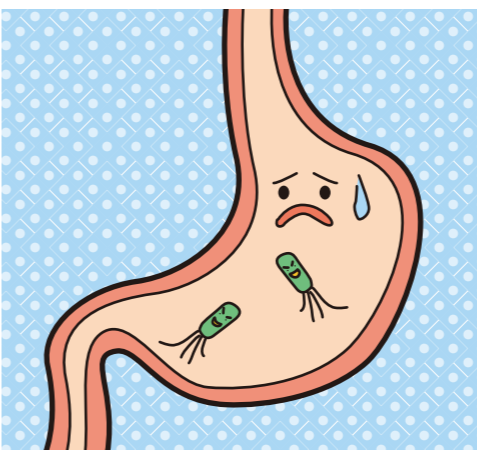
委員長=◎  
副委員長=○

**答弁** 令和2年度では、収支不足  
の調整に要する基金繰入額は  
約12億円となっている。例年、決算  
においては6億円ないし8億円の不  
用額が生じており、同プランの令  
和2年度の収支不足見込額である  
約6億円と整合する状況となって

## 一般会計（歳出）

**質問** 健康診査事業では、中学2  
年生を対象に新たに実施する  
ピロリ菌検査に係る委託料として  
352万1千円が計上されている  
が、検査の詳細等について伺いたい。

**答弁** ピロリ菌検査については、  
胃がんの発症リスクを軽減す  
るため実施するもので、学校を通じ  
て尿検査のキットを配付し、保護者  
の同意のもと検査することとしてい  
る。その結果、陽性であった生徒に  
対しては二次検査を行い、感染が確  
定した生徒には抗生剤の服用による  
除菌治療を受けてもらう予定であ



る。なお、検査の実施にあたっては、  
保護者の同意が得られるよう丁寧な  
説明に努めていきたい。

又路線と実証実験を切り離し、路線  
バスの現状ダイヤを維持しながら実  
験を行うこととしたものである。  
なお、同地区で実証実験を行う考  
えに変わりはないが、実証実験に係  
る委託料については、地域住民との  
協議や地域公共交通会議の検討に基  
づいて方向性を定め、議会に報告し  
た上で予算を執行することにしたと  
考えている。

**質問** 在日外国人学校就学支援事  
業については、事業再検証の  
結果、事業を廃止して要保護・準要  
保護就学支援事業の中で、必要な家  
庭に対する支援を拡充する方針が示  
されているが、同制度の取り扱い  
に関する市の基本的な考え方を伺  
いたい。

**答弁** 現在、具体的な検討作業の  
最中であるが、現時点では、  
市立小中学校で適用している所得基  
準に基づいて、フリースクールや私  
立学校等に通う子どもたちにも支援  
を拡充していく考えである。また、  
周知方法については、広報誌のほか  
個別に案内文書を送付することなど  
も想定しながら、今後、詳細な取り  
扱いを検討していきたい。  
**反対意見** 在日外国人学校就学支援  
事業の廃止については、歴史的経過  
を踏まえ再考すべきであり、生活保

護基準を基礎とした制度の中で対象  
範囲を拡大するという実態を踏まえ  
ない見直しは到底納得できない。  
また、病院事業会計支援事業では  
指定管理料に加え補助金なども計上  
されているが、感染症拡大や災害な  
どの不測の事態に公立病院としての  
役割を発揮できるよう計画を見直す  
べきである。このほか、保育施設の  
整備方針や中学校給食実施に向けた  
事業の進め方などに疑問を感じる。  
さらには、固定資産税に係る課税  
のあり方をはじめ歳入確保に向けた  
努力の姿勢がうかがえないため、反  
対する。

**賛成意見** 越田市政として、最初の  
本格的な編成となる本予算案は、事  
業再検証の結果が反映され、多くの  
新規事業も盛り込まれている。この  
中でオンデマンドモビリティサービ  
ス実証実験に係る費用が計上されて  
いるが、全体事業費が不明確であり、  
今後、地域住民の理解や地域公共交  
通会議での協議に加え、議会とも議  
論を重ね必要な手続を経て進めるよ  
う強く求める。

今後、市民の幸せを大切にし、住  
み続けてもらえるまちづくりの実現  
に向け、ともに取り組んでいただく  
ことを心より望み、賛成する。



### オンデマンドモビリティ（需要応答型交通システム）

路線バスの乗り合いとタクシーの予約を組み合わせた交通形態。事前予約による乗り合いで運行することや運行ダイヤ、乗車時間、発着地など自由な組み合わせにより、利用者にとって高いサービスの提供を受けることができる。



# 特別会計

## 国民健康保険事業

**質問** 令和2年度の国民健康保険の税率改定に伴い、わずかながら軽減対象世帯の拡大が行われているが、多子世帯に対する軽減措置に関する市の基本的な考え方について伺いたい。

**答弁** 子育て世帯に関する保険料負担については、所得のない子どもであっても世帯員数が増えることにより保険料額が上昇するといった構造的な問題がある。

市としては、保険者による減免措置という視点ではなく、国民健康保険制度の仕組み自体を見直す必要があると認識していることから、国に対して、子どもに係る均等割額の軽減措置やさらなる財政支援を求めていきたいと考えている。

**反対意見** 国は、運営主体を県に移行させたが、十分な財政支援が行われず、構造的な課題が解決されないまま市の負担が増え、保険税の引き上げにつながるという新たな構造的欠陥が生まれている。

このような中、新年度に平均7.53%の税率改定や賦課限度額の引き上げが予定されており、結果的には市民負担が増大するため、本案に賛成できない。

【委員会の審査結果…可決】

## 後期高齢者医療事業

**質問** 後期高齢者が増加し続ける一方、1人当たりの医療給付費には増減が見られることから、その要因及び今後の医療給付費、さらには被保険者数の推移の見込みについて伺いたい。

**答弁** 1人当たりの医療給付費は、診療報酬のマイナスイ改革定があった年度には減少する場合もあるが、基本的には被保険者数の増加に比例して伸びている。

**答弁** 後期高齢者医療制度は、兵庫県後期高齢者医療広域連合で制度の構築や予算編成が進められており、保険料の徴収といった部分を担う市では、制度自体の見通しを示すのが難しい立場にあるが、広域連合にお

る議論について市民に丁寧に説明していきたい。

**反対意見** 令和2年度は、低所得者の軽減措置が一部拡大されたものの、賦課限度額の引き上げなど全体として負担増となる改定が行われるため、本案には賛成できない。

**賛成意見** 保険料率改定に関し、市民への丁寧な説明などを遺漏なく取り組まれるよう要望し、本案に賛成する。

【委員会の審査結果…可決】

## 介護保険事業

**質問** 高齢者の自立支援等の取り組みに対する支援として計上されている保険者機能強化推進交付金の詳細を伺いたい。

**答弁** 当該交付金は、PDCAサイクル体制等の構築、自立支援・重度化防止等に資する施策の推進及び介護保険運営の安定化に資する施策の推進といった、国が定めた大きく3つの評価指標に基づき配分されるものである。

本市の現状は、3つの指標のうち、自立支援・重度化防止等に関する指標と、介護保険運営の安定化に関する指標が県平均を下回っていることから、重点的に対策を講じ、評価点数を上げていきたいと考えている。

**賛成意見** 保険料が、社会全体で生かされていると実感できる介護保険制度にされるよう、市から国へ意見することを強く要望し、本案に賛成する。

【委員会の審査結果…可決】

## 用地先行取得事業

**質問** 財産収入において、栄根2丁目及び錦松台の土地貸付収入として、322万7千円の収入を見込んでいる。

その中、これらの土地の今後の取り扱いについて伺いたい。

**答弁** 栄根2丁目の土地については、令和2年10月を目途に国道176号拡幅用地として売却する予定で、現在、県と交渉中である。

**答弁** 錦松台地区の土地については、平成22年に公募によるプロポーザルを行っており、令和17年12月末までを期限とする事業用借地権契約を締結の上貸し付けている。

【委員会の審査結果…可決】

## 中央北地区土地区画整理事業

**質問** キセラ川西エコマち協議会運営支援業務委託料として、204万6千円が計上されているが、

## 病院事業

**質問** 医療外収益として、一般会計からの交付金2億4022万5千円を計上しているが、算定根拠となる支給予定者数を伺いたい。

**答弁** 人材確保対策経費の算定に当たっては、2月1日時点人数で積算しており、元市職員127人のうち、支給対象とならない医師20人を除いた107人を支給対象者として積算し予算計上している。

**反対意見** 指定管理者制度への移行早々に多数の看護師が退職したことにより、4階北病棟が休止となったほか、看護基準が7対1から10対1に変更となり、その結果、稼働病床数は234から197に落ち込んでいる。

このような現状を回復できないまま新たな年度が始まるうとしており、市はこの実態を重く受け止め、新病院建設や北部医療のあり方を再考すべきと考えることから、本案には賛成できない。

**賛成意見** 現在は新病院への移行に向けた過渡期であり、非常に難しい時期であるが、北部診療所の計画を含めて一日も早く事業を進め、市民の心配を解消するための予算であることから、本案に賛成する。

【委員会の審査結果…可決】

# 公営企業会計

## 水道事業

**質問** 平成30年度から滞納整理・窓口業務の委託がスタートし、市民に寄り添った対応をしていると伺っているが、これまでの給水停止状況などを含め、委託化をどう評価しているのか。

**答弁** 給水停止の件数は、令和2年1月現在148件で、前年度決算値である206件と比較すると停止件数は減少傾向にある。一方、収納率



キセラ川西せせらぎ公園

については、12月末時点の前年度比較では、0.8ポイント改善している。以上のことから、給水停止とすること前に納付について丁寧に折衝することで、水道料金が滞納とならないよう適切な収納対策が講じられているものと評価している。

**賛成意見** 水道は暮らしと健康に直結する大切なものであるにもかかわらず、消費税が市民転嫁されている点については、国へ要望をされることを求め、本案に賛成する。

【委員会の審査の結果…可決】

## 下水道事業

**質問** 公共下水道の整備が進み、現在では100%に近い普及率となっているものの、供用開始された地区においては、30年度末現在で、なお457戸が未水洗化という状況になっている。

**答弁** 供用開始区域内の未水洗化地域も数多く存在する地域もあるものの、市内全域に点在している状況となっている。未水洗化となっている原因としては、水洗化工事が住民負担となっており、独居高齢者世帯のため改定の必要がない、浄化槽を整備済みであるため必要性を感じない、設備改造を行う資力が不足しているなどが挙げられる。

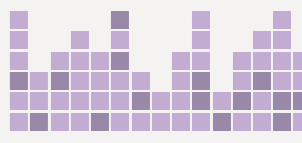
これを直ちに解消することは困難な状況にあると考えるものの、対象者は別訪問を継続的に実施することとしている。

なお、返済期間を3年として貸与する水洗便所改造資金貸付金については、新年度は6件分270万円を計上している。

【委員会の審査の結果…可決】



# 総括質問



## 市民クラブ「改革の風」

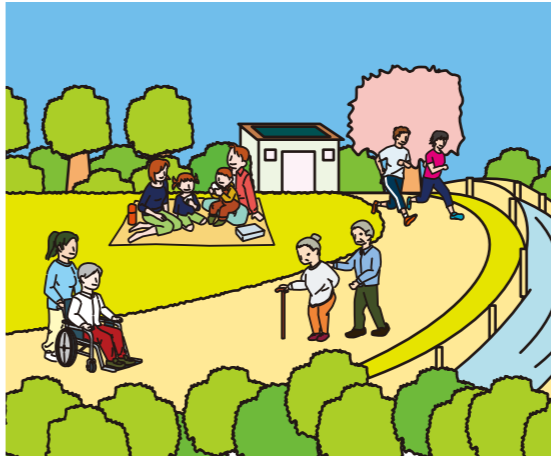
質問者：岡 留美

福祉人材の確保に向けた環境整備の考えは

**質問** 新年度は、高齢者・障害者福祉などの分野でさまざまな施策の拡充を目指されており、歓迎すべきことと考えている。一方で懸念されるのは、人材と財源の確保であり、特に人材確保が図られなければ現場の疲弊が事業の継続を困難にすると考えられる。また、高齢化が進む地域において、定年後の社会参加を求める人材を福祉分野で活躍する仕組みの構築という提案を福祉の活動をされている方からいただいている。

**答弁** 福祉事業所などの人材不足に係る対策としては、ハローワークなどと協力し、「かわにし介護就職フェア」などを開催している。今後とも、福祉に係る人材の確保や労働環境

の改善に取り組むとともに、必要な財源の確保に努めていきたい。また、限られた時間の中で介護も書類作成も行わなければならない介護職員の現状を聞いており、その改善にも取り組んでいかなければならないと考えるほか、ご提案の福祉人材の新たな掘り起しは、人材のマッチング機能と考えており、あらゆる面で必要なことと考えている。



その他の質問項目

○「川西の新しいデザイン」、「新たな川西モデル」、「新しい川西方式」と

は、について  
会派所属議員  
福西 勝 岡 留美 中井成郷  
谷 正充 津田加代子

## 明日のかわにし

質問者：多久和 桂子

ごみの排出方法と収集体制の見直しを

**質問** 高齢化の進展に伴い、家庭ごみの戸別収集を希望する世帯が多い地域が沢山あると思われる。また、収集体制としては、コストなどの財政面や人材の確保に加えて地域性を考慮し、地域ごとに一括して指定する事業者に家庭ごみの収集を委託することを検討する必要があると考える。

**答弁** ごみの排出方法や収集体制については、新年度より、燃やすごみ、プラスチック類等の収集業務の一部を直営から民間事業者へ委託することとしている。

また、現在のごみ種別ごとの収集業務を見直し、令和4年度から地域ごとの試行実施などで、参考となる意見を市民から数多くいただくことができ、事業の質を高めるために対話が大切であるとあらためて感じることができた。また、市職員とも機会あるごとに対話することを心掛け、意見交換を通じて市政に対する思いが浸透してきていると実感している。

新年度は、第2次総合戦略をスタートさせ、3年間の施策実行により、「何気ない日常に幸せを感じるまち」を実現し、川西の新しいデザインを達成したいと考えている。

ねと一緒に取り組んでいきたい。その他の質問項目

○市長として2年目の決意についてほか会派所属議員

松隈紀文 磯部裕子 西山博大  
秋田修一 久保義孝

## 公明党

質問者：平岡 謙

市長就任1年を総括して

**質問** 新年度は、第2次総合戦略がスタートし、人口減少、超高齢社会が到来する中で持続可能な行政運営への市長の手腕が問われる年度となると考える。

**答弁** 令和元年度は、総合戦略の策定や事業再検証に多くの市民とともに取り組むなど、川西新時代の礎を築くための1年であったと考えている。その過程では、タウンミーティング

らゆる大型住宅団地における課題であるとともに、一方で既存の公共交通をどう守っていくのかといったことも大きな課題であると認識している。今後、実証実験の実施に向けた調整を行うとともに、既存公共交通に係る課題解決に向けて地域住民と対話を重



大和地区

の収集業務に変更するほか、ビン回収用のコンテナ配布業務についても、見直しの検討を行っていく。

地域住民との意見交換にあたっては、限られた財源の中で何かを充実すると、どこかを削減する必要があらることから、市としては、こういう選択肢があるのではないかとというような対話をしていきたいと考えている。

## その他の質問項目

○令和2年度施政方針における市長の所信について

会派所属議員  
田中麻未 坂口美佳 多久和桂子  
斯波康晴 小山敬明

## 川西まほろば会

質問者：西山 博大

住民理解の上で実証実験を

**質問** オンデマンドモビリティサービスの実証実験を7月から大和地区で実施する予定で、期間中、昼間帯の既存バス路線を運休する方針が示されている。1月に同地区で開催された実証実験に向けたタウンミーティングにおける住民の反応は、新サービスへの期待よりもバスの運休に対する不安の方が強く、2月に開催された「大和団地みんなの交通検討会」でも同様

棟は閉鎖され、看護基準も10対1のままの状況が続いている。

近隣市では直営による新病院整備の基本方針が策定されたところであるが、本市においても、新病院建設の内容はもとより、北部地域から入院機能を残すといった観点で同基本構想を見直すべきであると考えているが、市の見解を伺いたい。

**答弁** 将来にわたって安心して安全な医療を提供していくためには、小児、周産期、救急等の政策医療や高度な医療を担う公立病院が必要であると認識しており、救急機能の集約化による市内全域の救急力の強化などを内容とする当該基本構想が現実的な方法であると考えている。

また、北部地域に急性期の入院機能を残して欲しいといった意見があることは承知しており、大きな課題であると認識していることから、現病院の跡地活用について地域住民と意見交換を行ったところである。

今後、地域住民からの意見を参考にし、民間業者等の参入の意向等も注視しながら検討していきたいと考えている。

## その他の質問項目

○「市長として2年目の決意」と市政運営について

会派所属議員  
吉岡健次 黒田美智 北野紀子



## 飛行場対策周辺整備 調査特別委員会

●実施日  
令和2年2月7日  
●視察事項  
「大阪国際空港（伊丹空港）における遅延便・騒音対策について」

本委員会では、遅延便や騒音対策について伊丹空港を運営する関西エアポート株式会社をはじめとする各航空会社などへの所管事務調査を実施いたしました。

近年、国における訪日旅行促進事業や地方空港の国際線誘致の活発化により、訪日観光需要では、関西3空港の旅客数が増加している状況にあります。

伊丹空港においても、近年は発着回数が増加して運用されており、利便性の高さからも利用者数が増加傾向にあります。一方で、全国的な悪天候や航空需要の拡大に伴う空港の離着陸の混雑等により遅延便が増加しています。

そうした中で、未達成となっている環境基準や「大阪国際空港の存続及び今後の同空港の運用等に関する協定（存続協定）」に基づく運航枠の維持、夏冬の臨時便、低騒音機導入など課題は山積しており、こうした内容も含めて確認を行いました。

調査は関西エアポート株式会社、日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、国土交通省大阪航空局の幹部や担当部署から、伊丹空港の概況、遅延便の現状及び今後の対策、騒音対策への取り組み等について説明を聞くことができました。

その中で、遅延便対策としては、存続協定に基づき、午後9時以降翌日午前7時までに発着するダイヤ設定を認めないことや、出発及び到着の最終便の時間設定、悪天候時にも遅延が連鎖しないよう余裕を持ったダイヤ設定を行うこと、国内線としては日本初導入となる最先端の保安検査機スマートレーンの導入、利用者へ定時運航の協力を啓発するなどの取り組みの説明がありました。

また、騒音対策においても、騒音を軽減するための飛行方式や優先飛行経路、低騒音機材の導入などの取り組みの説明がありました。

その他、航

空会社の運航関連集中コントロール部門においてフロアでの業務内容を見学しな

がら説明を受けました。

本調査を通じて、本市特有の問題について、多くの点で対策に取り組みされている内容を確認することができ有意義なものとなりました。

今後、当委員会として取り組むべき課題や問題を引き続き、調査等を実施しながら、問題解決に取り組んで参ります。

（委員長 大矢根 秀明）

視察委員  
大崎淳正 中曾千鶴子 磯部裕子 秋田修一  
中井成郷 吉岡健次 大矢根秀明



## 会議公開制度について



各地方議会は、「普通地方公共団体の議会の会議は、これを公開する。」という地方自治法の規定に基づき、原則として会議を公開することとなっています。法でいう「会議」とは最終的な意思決定の場である「本会議」を指しますが、川西市議会では、議案を詳細に審査する「常任委員会」、特定事項を審査するための「特別委員会」、議会運営の円滑化を図るための「議会運営委員会」といった本会議以外の会議も、公開制度を実施しています。

- ① 傍聴の自由
  - ② 報道の自由
  - ③ 会議録の公表
- を意味すると解されていますので、ここでは市民の皆さんに関係が深い①と③をご紹介します。

### ■傍聴について

誰でも原則として自由に直接会議を傍聴することができますというもので、川西市議会では受付に口頭で申し出て「傍聴券」を受け取るだけで傍聴することができます。ただし、会議を円滑に進めるため、会議室内で傍聴できる人数や守っていただきたい事柄を規則等として定めており、傍聴には一定の制

約があります。

会議の開催予定はホームページでお知らせしているほか、市役所1階等にも掲示していますので、傍聴にお越しの際の参考にしてください。（ただし、新型コロナウイルスが収束するまでの間は、国や県・市の要請に留意してください。また、最終面の「かわにし市議会からのお知らせ」も参照してください）

### ■会議録について

川西市議会では、公式の会議は全て文字化した上で「会議録」として公開しています。会議録は、データによりインターネットで検索・閲覧ができるほか、冊子は中央図書館や市役所2階の市政情報コーナー、市議会事務局などでご覧になれますが、話し言葉を読みやすくする処理を行ってから公開しますので、作成まで数カ月お時間をいただいています。なお、本会議については、開催後10日程度で録画映像をホームページにアップしており、会議録より早く当日の様子が確認できますので、ぜひご利用ください。

以上についてご不明な点があれば、お気軽に川西市議会事務局へお問い合わせください。

## 選択的夫婦別姓制度の導入に向けて民法改正を求める意見書〈全文〉

世界経済フォーラムが毎年公表しているジェンダー・ギャップ指数の最新版では、日本は世界153カ国中121位と前年の110位から大きく順位を下げており、特に政治分野で144位、経済分野で115位と遅れが顕著であるほか、教育分野においても高等教育就学率で男女比の差が開き、順位が前年の65位から91位と大きく後退しています。こうした日本の現状は、国連が持続可能な開発目標（SDGs）の1つに「ジェンダーの平等」を掲げるなど、全世界が男女間格差の解消に積極的に取り組む流れに逆行していると言わざるを得ません。

その要因の一つとして法制度の不備が指摘されており、特に世界で日本だけが法律により義務付けているとされる夫婦

同姓については、別姓を選択可能とする制度導入を求めて提訴が相次いでいるほか、内閣府が公表した世論調査では別姓賛成が反対を上回るなど、国内での要請は切実の度を増しています。また、国外からは、国連の女子差別撤廃委員会から、同姓を強制する規定は「差別的な規定」であるとして繰り返し法改正を勧告されています。

国は、これらの声に応え、別姓を選択する自由を認める選択的夫婦別姓制度の導入を早急に実現すべきです。

以上のことから、当市議会は、選択的夫婦別姓制度導入に向けて一日も早く民法を改正するよう、ここに強く要望いたします。





### 受理した陳情

- 発達障がい児教育への陳情書
- 知的障がい者が高齢期に生活できる施設の整備に関する陳情書
- 川西病院の存続を求める要望書

## 議会の活動状況

1月		2月		3月		4月	
19日	○第1回市議会定例会 (招集日)	7日	○第1回市議会定例会 (第2日)	2日	○第1回市議会定例会 (第4日)	5日	○厚生文教常任委員会 予算審査特別委員会
29日	○市立病院整備調査特別委員会	27日	○第1回市議会定例会 (第3日)	4日	○総務生活常任委員会	6日	○飛行場対策周辺整備調査特別委員会
31日	○議員協議会	28日	○第1回市議会定例会 (第3日) 議会運営委員会	17日	○議員協議会 厚生文教常任委員協議会	11日	○建設公企常任委員会
		10日	○議員協議会	17日	○議員協議会	12日	○市立病院整備調査特別委員会
		12日	○議会運営委員・常任委員長合同会議 議会運営委員会	4日	○総務生活常任委員協議会	12日	○市立病院整備調査特別委員会
		17日	○議員協議会 厚生文教常任委員協議会			13日	○特別会計・公営企業会計 議会運営委員会
						21日	○市立病院整備調査特別委員会
						23日	○広報委員会

## かわにし市議会からのお知らせ

### ●会議の開催について

次の定例会の予定は下記のとおりです。一般質問を予定している6月11、12、15日は、午前9時30分開議となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほかの議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、これらの会議は当面の間、マスク着用やこまめな換気などの新型コロナウイルス対策を実施した上で開催することとしています。傍聴については、国などの外出自粛要請にご留意いただき、慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、感染拡大の状況等によっては急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。市議会事務局へ直接お問い合わせください。

### ●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程や会議録だけでなく、議員の政務活動費などについても掲載しています。

また、現在3月定例会の本会議の様子を録画配信しています。

本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催予定に変更がある場合は、随時ホームページに掲載します。

川西市議会ホームページ



### 6月定例会(予定)

6月	4日(木)	午前10時	本会議(招集日)
	11日(木)	午前9時30分	本会議(一般質問)
	12日(金)	//	本会議( // )
	15日(月)	//	本会議( // )
	16日(火)	午前10時	常任委員会
	17日(水)	//	//
	18日(木)	//	//
	26日(金)	//	本会議(最終日)



### 広報委員会

委員長	副委員長	委員
中井 成郷	麻田 寿美	松隈 紀文
福西 勝	吉岡 健次	田中 麻未
大矢根 秀明	江見 輝男	

市議会だより2027号、お読みいただきありがとうございます。本号では令和2年第1回市議会定例会について掲載させていただきました。この定例会では「市長としての2年目の決意」をはじめとする令和2年度施政方針が示され、小中学校タレット導入のための補正予算、新年度予算等の重要案件を慎重に審議の上、可決いたしました。

さて、今期定例会が開会して間もなく、新型コロナウイルス感染症の問題が深刻化したため、対応に迫られる当局に配慮するとともに、感染症拡大予防の観点から今期定例会での一般質問の実施を見送りました。一般質問を行う議員に期待を寄せたくざった方、傍聴を予定していた方には誠に申し訳ございません。感染症の動向等を注視しながらではありますが、6月の第2回市議会での一般質問に向けて、改めて準備を万端に整えてまいります。どうぞご期待ください。

皆様のもとにはやく「何気ない日常」が戻りますように。ご自愛くださいませ。